



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アイキューブドシステムズ 上場取引所 東
コード番号 4495 URL <https://www.i3-systems.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 CEO (氏名) 佐々木 勉
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 増田 恵美子 (TEL) 092-552-4358
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	697	5.9	137	△17.3	137	△16.8	93	△16.8
2023年6月期第1四半期	657	—	165	—	165	—	112	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 93百万円(△16.8%) 2023年6月期第1四半期 112百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	17.67	17.50
2023年6月期第1四半期	21.30	21.03

(注) 当社は、2022年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,317	2,509	75.4
2023年6月期	3,399	2,573	75.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 2,500百万円 2023年6月期 2,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,002	12.7	649	5.0	649	6.5	443	0.7	83.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年6月期1Q	5,293,450株	2023年6月期	5,292,350株
2024年6月期1Q	168株	2023年6月期	168株
2024年6月期1Q	5,292,793株	2023年6月期1Q	5,276,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費やインバウンド需要の回復によって国内の経済環境は緩やかに改善した一方で、ウクライナ情勢や各国の金融政策の動向などに対する懸念が長期化しており、引き続き先行き不透明な状態が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、パーパスを「笑顔につながる、まだ見ぬアイデア実現の母体となる」、提供価値を「デザインとエンジニアリングの力で、挑戦を支える」と定義した上で、「挑戦を、楽しもう。」をブランドスローガンに掲げ、挑戦的な文化を醸成し、ITを軸とした様々な挑戦を積極的に進めていく企業を目指しております。

当社グループの事業展開としては、企業や教育、医療の現場において活用が進むモバイル端末を、一元的に管理・運用するためのソフトウェアサービスをSaaS (Software as a Service) として提供する「CLOMO事業」を主軸事業とし、CVCやM&Aを通じた投資活動によって当社グループの持続的な成長の実現及びスタートアップ企業における新たな価値創造への挑戦を支える「投資事業」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については、主軸事業であるCLOMO事業において新規顧客の獲得が進み、導入法人数が堅調に増加した結果、売上高が前年同期比で増加しました。費用面については、前連結会計年度において製品開発力の増強を目的に、新たに開拓した委託先企業と積極的に開発投資を進めたことで、ソフトウェア製品のリリースが増加した結果、減価償却費を中心とした売上原価が前年同期比で増加しました。一方で、当連結会計年度の人材採用計画においては、企業の持続的成長を目的に新卒人材の採用を中心としており、中途採用に係る人材紹介費用等が減少した結果、販売費及び一般管理費は前年同期比で減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高697,023千円（前年同期比5.9%増）、営業利益137,222千円（前年同期比17.3%減）、経常利益137,469千円（前年同期比16.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益93,508千円（前年同期比16.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① CLOMO事業

CLOMO事業においては、2010年から提供を開始したモバイル端末管理ソフトウェアサービス「CLOMO MDM」及びモバイル端末向けアプリサービス「CLOMO SECURED APPs」（以下、CLOMOサービスとする。）を事業の主軸に、クラウドを利用したB to BのSaaS事業をサブスクリプションの形で提供しており、2022年12月に公表されたMDM市場（自社ブランド）シェアにおいて、2011年度から12年連続でシェアNo. 1を達成しました（注1）。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き全国各地でCLOMOサービスの製品勉強会を積極的に実施し、既存の販売パートナーとの連携強化を図るとともに、新たな販売パートナーの開拓を推進しました。また、主要な販売パートナーである株式会社NTTドコモが提供するMDMサービス「あんしんマネージャーNEXT（注2）」に対して、2022年9月よりCLOMO MDMのOEM提供を開始しており、自社ブランド製品としての販売に加え、OEM製品の展開にも取り組んでおります。このような顧客基盤の拡大に向けた取り組みの結果、前第1四半期連結累計期間の純増導入法人数138社に対して、当第1四半期連結累計期間の純増導入法人数は385社と、2.8倍に成長しており、新規顧客の獲得が堅調に進んでおります。

また、ARPU向上を目的としたオプションサービス拡充戦略の一環として、TeamViewerジャパン株式会社との協業を開始し、同社が開発・提供するリモートアクセスツール「TeamViewer Remote」の提供を開始しました。近年、モバイル端末の活用方法は多様化しており、例えば、店舗等に備え付けられている無人のモバイル端末の管理や、離れたオフィスで発生したITトラブルへの対応など、遠隔地にあるモバイル端末へのリモート接続が必要となる場面が増加しております。TeamViewer Remoteは高いセキュリティレベルを維持した上で、各種モバイル端末へリモート接続し、遠隔からモバイル端末の操作を可能とするサービスであり、今後はCLOMO MDMとの連携機能をリリースすることで、さらなる利便性の向上を図る予定です。

製品開発においては、CLOMOサービスのPC資産管理市場でのシェア獲得に必要なWindows端末向けの機能強化のほか、他社製品との連携など、顧客のニーズに応えるための機能改善に引き続き注力しました。また、継続的にOS開発元とのパートナーシップ強化に取り組んでおり、Google LLCが提供するパートナープログラム「Android Enterprise Partner Program（注3）」において、CLOMOサービスの導入実績の多さや製品力の高さ、そして導入支援や導入後のサポートを担当するスタッフがAndroid Enterpriseに関する豊富な知識を有している

ことについて評価され、Gold Partnerとして認定されました。

これらの取り組みにより、導入法人数は5,314社(前連結会計年度末に比べ385社、7.8%増加)に達しました。

この結果、売上高は697,023千円(前年同期比5.9%増)、営業利益は141,511千円(前年同期比16.9%減)となりました。

なお、サービス別の内訳は次のとおりであります。

CLOMO MDM	売上高	641,135千円
SECURED APPs	売上高	38,530千円
その他	売上高	17,357千円

② 投資事業

投資事業は2022年6月期より開始しており、2021年11月にベンチャーキャピタル子会社として株式会社アイキューブドベンチャーズを設立いたしました。また、2022年1月に当該子会社を通じてアイキューブド1号投資事業有限責任組合を設立し、CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)として投資活動を実施しております。

主な投資対象はモバイル、SaaS、セキュリティ等、当社事業領域と親和性の高い企業、社会課題解決型企業及び当社グループが本社を置く九州の地場で活動している企業としております。また、当社グループの新たな市場領域への進出及び収益源の創出を図るべく、M&Aを通じた新事業開発にも積極的に取り組んでおります。

当第1四半期連結結果計期間においては、引き続き幅広い情報ソースを活用した投資先の開拓を進めております。なお、当社グループのCVCファンドを通じた累計投資先社数は5社となっております。

この結果、営業損失は4,289千円(前年同期は営業損失4,269千円)となりました。

(注)1. 出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望」2011~2020年度、「ミックITレポート2022年12月号」2021年度出荷金額実績及び2022年度出荷金額予想。

2. 株式会社NTTドコモが提供しているモバイルデバイス管理サービスです。主に、社員・生徒に貸与したデバイスに対して紛失・盗難時に有効な「ロック/初期化」機能や、「カメラ制御」「利用可能アプリの制限」などのセキュリティ機能、「アプリ配信」などのデバイス管理業務効率化機能を備えています。

3. Google LLCが提供するプログラムで、パートナー企業によるAndroid Enterpriseの仕様に則した製品やサービス、ソリューションの開発、販売などの支援を目的としています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態については次のとおりであります。

(資産)

総資産は3,317,189千円となり、前連結会計年度末に比べ82,222千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が74,957千円、ソフトウェアが34,153千円減少し、売掛金が16,466千円、ソフトウェア仮勘定が16,198千円増加したことによるものです。

(負債)

負債は807,729千円となり、前連結会計年度末に比べ18,175千円の減少となりました。これは主に賞与引当金が34,780千円、買掛金が19,099千円、未払法人税等が17,242千円、契約負債が15,804千円減少し、その他流動負債が68,751千円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は2,509,459千円となり、前連結会計年度末に比べ64,047千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が93,508千円増加し、剰余金の配当に伴い利益剰余金が158,765千円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は75.4%(前連結会計年度末は75.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月9日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,055,977	1,981,020
売掛金	260,991	277,457
営業投資有価証券	240,589	240,589
その他	88,225	81,302
流動資産合計	2,645,783	2,580,369
固定資産		
有形固定資産	33,884	34,167
無形固定資産		
ソフトウェア	210,793	176,639
ソフトウェア仮勘定	174,184	190,383
その他	8,286	8,069
無形固定資産合計	393,264	375,092
投資その他の資産	326,478	327,559
固定資産合計	753,627	736,819
資産合計	3,399,411	3,317,189
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,668	45,569
未払法人税等	67,008	49,765
契約負債	471,087	455,282
賞与引当金	83,858	49,078
その他	139,281	208,033
流動負債合計	825,904	807,729
負債合計	825,904	807,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	409,787	410,082
資本剰余金	309,787	310,082
利益剰余金	1,846,481	1,781,224
自己株式	△774	△774
株主資本合計	2,565,282	2,500,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△167	△167
その他の包括利益累計額合計	△167	△167
新株予約権	4,701	5,387
非支配株主持分	3,690	3,624
純資産合計	2,573,506	2,509,459
負債純資産合計	3,399,411	3,317,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	657,885	697,023
売上原価	123,614	191,047
売上総利益	534,271	505,976
販売費及び一般管理費	368,308	368,754
営業利益	165,963	137,222
営業外収益		
受取利息	15	12
その他	92	913
営業外収益合計	108	926
営業外費用		
その他	790	679
営業外費用合計	790	679
経常利益	165,280	137,469
税金等調整前四半期純利益	165,280	137,469
法人税等	52,930	44,026
四半期純利益	112,349	93,442
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	△65
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,416	93,508

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	112,349	93,442
四半期包括利益	112,349	93,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,416	93,508
非支配株主に係る四半期包括利益	△66	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	657,885	—	657,885	657,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	657,885	—	657,885	657,885
セグメント利益 又は損失(△)	170,232	△4,269	165,963	165,963

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	697,023	—	697,023	697,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	697,023	—	697,023	697,023
セグメント利益 又は損失(△)	141,511	△4,289	137,222	137,222

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2023年10月11日開催の取締役会において、2023年11月10日を払込完了日とする譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことについて決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 発行の概要

払込期日	2023年11月10日
発行する株式の種類及び数	当社普通株式1,200株
発行価額	1株につき1,385円
発行総額	1,662,000円
資本組入額	1株につき692.5円
資本組入額の総額	831,000円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
株式の割当ての対象者及びその人数並びに割当てる株式の数	当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）2名 1,200株
譲渡制限期間	2023年11月10日から2053年11月9日まで

2. 発行の目的及び理由

当社は、2022年9月28日開催の第21期定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）に対する中長期的なインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的として導入した譲渡制限付株式報酬制度（以下、「本制度」という。）に基づき、年額1億円以内の金銭報酬債権を支給するとともに、当該金銭報酬債権の現物出資によって年1万株以内の譲渡制限付株式を付与すること及び当該譲渡制限付株式の譲渡制限期間を3年間から30年間までの間で当社の取締役会が定める期間とすることなどについてご承認をいただいております。

本新株式発行は、本制度の一環として、対象取締役に実施されるものであります。